

市史編さん室 事務局活動報告

(平成二十九年一月～二月)

I 古文書等調査報告

一 古文書等調査の概況

市史編さん室では、各専門部会活動の資料とするため、市内にある古文書等の歴史史料について、目録作成・写真撮影等の基礎的な調査を行っている。

平成二十九年(二〇一七)一月から二月までの間に、一九件の文書群(総点数八四七点)について調査を終えた(一部を除き、次項にそれぞれの文書群に関する解説を付した)。これにより、平成一九年度より約一二二件(総点数五万六〇〇点超)の調査を終えたこととなる。なお、平成二十九年二月末日の段階で、四五件(総点数約

四万四〇〇〇点超)の史料群を借用し、市で所蔵している一四件(総点数二万点超)の史料群と共に調査を進めている。また、市外の資料保存機関等における調査も継続的に行っている。

近年は編さん事業の進展に伴い、以前と比べて基礎的な古文書調査に時間を割けない状況にあるが、他の業務と調整しながら着実に進めていきたい。

(小林)

二 調査終了文書の紹介

下奈良明石屋文書 四五点

平成二十九年二月二〇日に古書店から購入した近世文書

である。文書の宛所の多くが下奈良村明石屋源蔵であることから、文書群名を下奈良明石屋文書とした。最も古い文書は、天保一三年(一八四二)のもので、六六ある。文書の内容は、天保く嘉永期の売掛貸金出入に関するものとしてまとまっている。一件は、酒の支払を滞納した周辺村三四名に対して起こされ、嘉永四年(一八五二)に内済となったようである。調査を終えた後も、妻沼展示館にて保管している。

(栗原)

村岡渡船場組合文書 一〇五点

平成一七年に市立熊谷図書館へ寄贈された近現代文書で、合併以前の市史編さん室で行われた地方文書調査にある程度整理されていたが、今回あらためて整理を行った。最も古い文書は、明治二〇年(一八八七)「春蚕源種掃立枚数及繭收穫・桑園反別・駄数取調に関する書類綴」である。文書群名は渡船場組合文書としているが、文書の内容は必ずしも渡船場に限らないため注意を要する。村岡の渡船場については、渡守人の交代や補助金に関する文書があるくらいで、他には吉岡村役場か

らの通知、吉岡村農業会の関係文書、祭り掛けや共有金などの保に関する文書など、村岡に関する多様な文書を含んでいる。渡船場組合から多様な地域の組合への時代的変遷を追うことができよう。調査を終えた後も、妻沼展示館にて保管している。

(栗原)

妻沼中央公民館旧蔵文書 三九点

平成一九年(二〇〇七)十一月と平成二十九年二月に妻沼中央公民館から移管された近世・近現代文書である。最も古い文書は、文化一五年(一八一八)「村内蓮印帳」で、弥藤吾村のものであり、近世文書はこの一点のみである。その他は、明治期の行政文書と掛軸の書画に大別できる。行政文書の内容は、妻沼村戸長役場の文書が多い。掛軸は、いずれも昭和期のものであるが、妻沼町教育委員長だった鈴木治行氏が妻沼中央公民館の開館記念に自ら写して寄贈した「両宜塾記」や、昭和六二年に妻沼中央公民館で開催された関東甲信越書道特別講習会で六字齋観峰が作詩・揮毫した漢詩掛軸などがある。調査を終えた後も、妻沼展示館にて保管している。

(栗原)

下奈良 吉田市右衛門家文書 三点

平成二五年三月二十九日に購入した近世文書である。吉田市右衛門家文書の所在については、東京大学法学部法制史資料室、国文学研究資料館、埼玉県立文書館などが知られているが、その文書群の一部と考えてよいだろう。①弘化二年（一八四五）「前田様御仕法替金銀差引帳」、②弘化四年「前田様金銀差引帳」、③天保八年（一八三七）「精帳」という三点の縦帳である。これらの文書は、いずれも吉田市右衛門の作成した文書であるが、③が三代宗敏（筆跡から確認）、①②が四代宗親（生没年から確認）とみてよいだろう。文書の内容であるが、①②の「前田様」は前田兵部という旗本のことで、旗本家への金銭関係帳簿である。金額は一〇〇〇両を超える多額である。③は旗本前田家の年貢納入や立替・上納金などについての覚書である。知行所の上奈良村・西野村・野原村（以上、熊谷市）、道地村（加須市）、下瓦葺村（上尾市）、花ノ木村（北本市）の年貢などの納入を書き上げている。本来、文書群名にもある通り、吉田家は下奈良村名主役を勤めているが、なぜ前田家の知行所関係文書があるか、その関係は不明である。今後の検討課題としておきたい。調

査を終えた後も、妻沼展示館にて保管している。

（栗原）

伊勢町大嶋晴隆氏収集文書 五点

平成二二年二月二二日に寄贈されたモノクロ写真である。五枚の写真は、一括して一つの紙台紙に挟まれている。五枚のうち、二枚は昭和八年四月の熊谷市制施行祝いの写真であると思われる。旧市庁舎の前で、提灯を手にした多くの人々が集まっており、庁舎には市章が電飾で光輝いている。もう一枚は、場所が不明であるが、中央に市章と「熊谷」の文字が書かれた塔があり（その下の文字は判読できない）、その周りに多くの人々が集っている。「祝市制」と記された大きな提灯が二つ、他にも沢山の提灯がみえる。五枚のうち、一枚は「晴湖」という酒と思われるビンの着ぐるみを着た四人が行列している写真である。手足が着ぐるみから出ており、左手には「祝〇〇〇」と記された小旗を携えている（〇〇〇は判読不能）。周囲の人物と比べても、非常に大きな着ぐるみであることがわかる。今回の調査では、「晴湖」という銘柄の酒などは確認できなかったため、今後の検討

課題としておきたい。五枚のうち、残りの二枚は被写体が何か不明であるが、大きな建物を撮影したものであると思われる。調査を終えた後も、妻沼展示館にて保管している。

（栗原）

東京都牛米努氏収集文書 一点

平成二九年六月一日に寄贈された熊谷堤の観桜案内である。戦前に熊谷市で発行した印刷物と思われる。熊谷市概観（位置・地勢、交通、主要産業）、名勝旧蹟（県社高城神社、団扇祭、龍淵寺、郷社上之村神社、熊谷寺、桜堤、星溪園池亭、荒川大橋）、観桜案内を記し、熊谷市周辺のイラストマップを付す。名勝旧蹟などの写真もまとめられている。調査を終えた後も、妻沼展示館にて保管している。

（栗原）

銀座 個人文書 三点

平成二九年一月八日に借用した句集一点および刊本二点である。所蔵者の出身である上増田個人家が所蔵し

ていたもので、句稿集は妻沼の小林某のものだという。句稿集は、途中に「明治十六年未三月廿三日」とあり、前後同じ筆跡であることなどから、それ以降に作成された文書であることがわかる。刊本はいずれも近世のものである。句稿集は残念ながら著者は不明であるが、数十句に一人の割合で評者の俳号が記されており、本文書を検討するヒントになる。近隣の俳諧をめぐる交流の一端を知ることができよう。刊本は、いずれも嘉永五年（一八五二）六月という年月と下増田個人の墨書があり、このときに入手したものであると思われる。調査を終えた後、所蔵者へ返却した。

（栗原）

玉井 玉井村文書 一五四点

平成二六年四月二八日に購入した近世・近代文書である。差出・受取などから玉井小林家が所出であると思われる。最も古い文書は、文化二年（一八〇五）「金子請取覚帳」であるが、作成者が佐々木又右衛門とあり、内容からも玉井村との関係は不明である。近世文書は二四点あり、年貢関係文書や金銭出納帳が目立つ。それらに

よると、旗本白須氏知行所に関するものが多く、慶応期には小林雄一郎が名主役を勤めていたことがわかる。近代文書は、地券が点数としては多く、二六点を数える。その他には、明治期の文書が多く、戸長役場、用水組合、土地名寄帳など行政的な文書が多い印象である。調査を終えた後も、妻沼展示館にて保管している。

(栗原)

永井太田笹本氏収集文書 一九三三

平成二〇年五月九日に市立妻沼図書館より移管された文書群で、旧妻沼町時代に文書購入者から寄贈を受けたものである。出所は、差出・受取などから永井太田野口家文書と考えられるが、明治期以降は萩原に改姓しているようである。ただし、天保二年(一八三一)に二点萩原勘蔵と記した文書がある。最も古い文書は、安永四年(一七七五)「家作木口仕用」である。近世文書は六〇点あり、全体の約三分の一を占める。簿冊が大半で、多くは金銭出納帳であるが、伊勢参宮餞別帳、祝儀帳・香典帳などもある。なお、「万日記」などという表題の付いた文書が散見されるが、中身はすべて金銭出納帳である。

近現代文書は、学校関係文書が多く、戦前までの太田尋常高等小学校の修業証書や褒状などの証書類が中心である。他には、太田村の予算関係文書や、太田村農会・男沼門樋悪水路普通水利組合などの団体に関する文書がある。興味深い文書としては、萩原宗義による建議案を挙げておきたい。明治一二年の建議案は県令に宛てたもので、総代人給料に関するものであり、明治一三年には「村役改革議」を執筆している。調査を終えた後も、妻沼展示館にて保管している。

(栗原)

男沼個人文書 五四六

平成二八年二月九日に借用した近世・近代文書である。所蔵家は近世では男沼村の組頭を勤め、明治期では男沼村の副戸長、戸長をはじめ、学務委員、筆生などを勤めた。文書群の大半が明治期の戸長役場関係である。初見は、寛保三年(一七四三)「干上り地割合帳」である。内容は、近世では貞享元年(一六八四)検地帳写、万治元年(一六五八)から明治三年(一八七〇)の年貢割付写などがある。明治期では、戸長選挙上申、男沼村々々規則、戸長役場引継目録、御用留、消防費用割賦などがあ

る。また、男沼学校に関する史料もまとまっており、明治一一年学校沿革誌、男沼小学校組合定則、男沼学校連区学齢人員表などがある。本文書群は、明治期の男沼村戸長役場関係、中でも明治前期の学校関係史料として貴重である。調査を終了した後、平成二九年三月一六日に文書を返却した。なお、返却時に薬師堂の仏像調査を実施した。

(水品)

板井寺山孝作氏収集文書 三四九

平成二七年一月二日に借用した近世・近代文書である。出所は万吉田村家(明王院)文書である。明王院は京都聖護院(京都市左京区)を本山とする修験寺院で、葛飾郡幸手村不動院霞下、押切村(現熊谷市)押切東揚寺霞下の一院であった。初見は、寛文六年(一六六六)「宝満流 開眼作法」である。年代は近世後期から明治前期までが大半をしめる。内容は、近世では万吉の修験寺院である明王院と観音院の略縁起、由緒覚書、旧記、院跡相続関連などがある。近代では、明治初年の触書・廻草、什物、除地・上知などに関するものがある。特に、明治五年本山修験宗廃止に際して、明王院は天台宗への帰入

願いを出して、聞き届けられている。本文書群は、幕末から明治初年にかけての万吉村修験寺院文書として貴重である。調査を終了した後、平成二九年三月二二日に文書を返却した。

(水品)

大日方純夫氏収集文書 八

早稲田大学教授大日方純夫氏が古書店から購入した近代文書である。平成二九年四月に早稲田大学文学術院研究室に訪問して調査させていただいた。文書は熊谷警察署の史料を項目ごとに報告、統計、標示、進達、願書規則などを警察叢書として八冊にまとめたものである。年代は明治四〇年(一九〇七)六月一五日から明治四一年七月一八日までとなる。内訳は、第一編在郷陸軍下士以下願届文例(三件)、以下、括弧内は各簿冊目次より内容細目を作成した件数を示す)、第二編外国渡航者取扱心得(二一件)、第三編雇傭口入業・職工周旋業・案内業(二八件)、第四編屠畜及売肉(五〇件)、第五編工場(六六件)、第六編鍼灸術(二二件)、第七編統工場(五二件)、第八編狩猟、空砲及威銃、畜犬附野犬及狂犬(七九件)となる。内容では、第二編に長井村大字上須戸の教

師小林香三郎が米国シカゴ市に電気学科研究のため渡航した史料がまとまっており、保証人には父常次郎はじめ宮本嘉楽、茂木昌一郎の名も確認できる。第四編では、屠畜業者大字熊谷成塚金太郎に関する工場関係が散見した。本収集文書は、近代熊谷とりわけ熊谷警察署関係史料として大変貴重であり、大日方純夫著『警察の社会史』（一九九三年、岩波新書）で分析されている。

（水品）

妻沼台 円満寺文書 五五〇点

平成二八年四月二五日に現地調査・借用した近世・近代文書である。大半が明治期の文書である。初見は刊本類を除くと、文政二年（一八二九）「四国徧路道」「（四国徧路日並記）」である。内容は、近世では安政二年（一八五五）朱印状写、幕末円満寺住職の僧官免許、天保五年の四国徧路追加日記などがある。明治期では、明治八年台村御用留、戸長役場書類目録、村議定連印帳写、備前渠用水組合議定書など役場関係がいくつかある。円満寺関係では、明治二四年本堂屋根替帳、明治二七年の本堂屋根替諸費控帳、什物明細書などがある。また、明治四三年大水害後の大字台工場関係史料として、妻沼小

島道修繕設計書、工事日誌、工事時間表、工事委員出席簿、人夫賃支払簿などがまとまっている。本文書群は寺院文書を中心に、明治期の役場関係、特に明治四三年大水害後の工場関係史料として貴重である。調査が終了した後、平成二九年四月二五日に文書を返却した。なお、返却時に現地調査を実施した（総計は現地調査分三点を含む）。

（水品）

永井太田 能護寺文書 四点

平成二九年五月一五日に借用した写真二点と、感謝状二点で、いずれも太平洋戦争中に能護寺で受け入れた東京都京橋区（現中央区）の京橋昭和国民学校の学童集団疎開に関連したものである。写真二点は、どちらも集合写真で、男子学童と教員等、女子学童と教員等が写っており、学校名・疎開期間・学童数・教員名の記された覚書とともに、一つの額に入れ保管されていた。感謝状は、いずれも学童集団疎開に協力したことへの感謝の意が記されたもので、一点は昭和二〇年一月三〇日付け東京都長官廣瀬久忠から、もう一点は昭和二二年三月一〇日付け東京都京橋区長横島勇からのもので、宛所は共に鈴

木光範氏である。これらは、能護寺が学童集団疎開を受け入れ、多くの学童等の疎開生活を支えたことを示す資料として貴重である。調査終了後、平成二九年八月二日に所蔵者へ返却した。

（小林）

新堀新田 安藤修平氏収集文書 一七一点 一三五頁参照

川崎市 北光夫氏収集文書 一点 一三九頁参照

台東区 熊谷寿郎・明子家文書 一点 一四〇頁参照

最後に、古文書の調査をさせていただきました所蔵者の皆様に厚くお礼申し上げます。

（文責 栗原健一・水品洋介・小林久美子）

II 埼玉県行政文書調査報告

埼玉県行政文書調査は、平成二四年度から着手して、継続中である。

III 新聞記事調査報告

新聞記事調査は、平成二四年度から着手して、現在も継続調査中である。

埼玉新聞調査は、埼玉県立熊谷図書館見出し記事検索を利用して関係記事（現熊谷市域）を抽出して、現代専門部会各委員が選定した記事を事務局で収集している

近代専門部会の要望で、埼玉県立図書館にある国重要文化財指定の埼玉県行政文書の中から、関係文書を収集する作業を実施している（複写、写真撮影、PDF印刷）。平成二九年度は、近代専門部会各委員より選定をうけた資料の収集を行い、埼玉県立図書館が一時閉館する間際まで作業を行った。

平成二九年一二月までに調査点数約三〇〇〇点（枝番含む）、総カット数約三八一四〇にも及んでいる。

今後の作業は、資料編刊行に向けて確認作業（CJH本、PDFデータ）を予定している。本格的な収集作業は、埼玉県立図書館開館後となる。

（文責 水品 洋介）

（複写又は写真撮影）。本年度は特に行政・人権分野での追加依頼をうけ、収集を実施した。また、昭和一八年から昭和二〇年八月までの関係記事はすべて収集済である。なお、見出し記事検索結果をもとに、新聞記事目録を作成しており、複写資料の整理等は来年度以降の課題である。

戦前の新聞記事調査は、埼玉県立文書館複製新聞から関係記事の収集（複写又は写真撮影）を行い、新聞記事目録を作成している。調査した新聞は、埼玉日日新聞、東武新報をはじめ、埼玉新報、国民新聞（一部）である。昨年度より東京日日新聞（毎日新聞）埼玉版の調査を優先的に行い、時期的欠落がないように努めた。本年度は、昭和一六年一月から昭和二〇年八月までの写真撮影が終了した。新聞記事目録の作成は、昨年度までに昭和一〇年三月まで終了していたが、写真撮影の目途がついたため、目録作成を重点的に行うことにより、昭和二〇年八月までの目録化が終了した（計四四、五八三点）。このほか、必要に応じて新聞記事（刊本類）収集を実施した。調査した新聞記事目録は、近代専門部会編集委員へ配付して、資料編に掲載する資料の選定などの精査を

依頼して、必要に応じて事務局や筆耕協力者が作業を行い、資料編刊行に備えている。今後は、写真整理作業、埼玉新報、国民新聞の残りを目録化することが課題として挙げられる。

戦後の新聞記事調査は、朝日新聞埼玉版を重点的に調査している。昨年度までに昭和六三年までの収集（写真撮影）が終了していたため、本年度は、平成元年より平成一九年二月までの記事を収集した（写真撮影）。これで、当初予定していた平成大合併までの記事を収集することができた。新聞記事目録は、昨年度までに昭和二四年から昭和三三年まで終了していたため、本年度は昭和三四年から平成一九年二月まですべて終了した。現在は写真整理作業を行っている。なお、昨年度にマイク口複写収集した昭和二〇年代の朝日新聞埼玉版の見出しを確認していたところ、目録洩れ記事があるため、こちらの補足作業も行っている。こちらの目録化作業は、今後の課題である。

また、昨年度は昭和三〇年までの資料が不足していることから、埼玉県立熊谷図書館にあるプランゲ文庫内の毎日新聞、読売新聞の中から関係記事を収集しており、

本年度はこちらの目録作成も終了した。以上、戦後の新聞記事目録は、計三〇五四七点となった。新聞記事目録は現代専門部会編集委員へ配付して、資料編に掲載する資料の選定などの精査を依頼して、必要に応じて委員が筆耕又は事務局で筆耕作業を行い、概ね終了している。今後の通常作業としては、戦前・戦後新聞とも写真整理作業が課題としてあげられる。また、資料編刊行に際しては、特に昭和二〇年代までの新聞が見にくいため、原物確認作業を予定している。

（文責 水品 洋介）

IV 行政文書の整理・保存

熊谷市文書管理規程に基づき保存期限満了の行政文書が一括廃棄される際に、市史編さん室では歴史公文書等として重要な文書を収集保存している。

本年度は平成二九年三月末で保存年限満了となる文書から、保存箱数で九〇箱分の行政文書を収集した。行政文書の者存年限は、五年、一〇年のものである。

収集後の整理作業は、平成二八年分の一六二箱の整理が終了して、新調した保存箱で八五箱となった。平成二九年度の整理・保存作業は、妻沼、江南、大里分が終了して、熊谷分は整理中である。

また、熊谷市の永年保存文書見直しにより、廃棄となった文書八四箱の回収も行った。整理・保存作業は今後の課題である。

今後は、廃棄文書の受入体制、保存場所、整理人員の確保等が課題として挙げられる。

（文責 水品 洋介）

V 小中学校調査報告

小中学校調査は、平成二五年度から実施して、現在も継続中である。

調査者は近代専門部会高橋和弘専門調査員、現代専門部会高橋信之委員の二名（共に各時代の教育分野担当者）と事務局で現地調査を行い、平成二九年一二月までに一四回、計二八校の小中学校調査を実施した。調査方

法は小中学校に所蔵されている学校沿革誌など綴じの文書を実見して、資料の残存状況を確認して、特に重要な資料については現地で写真撮影を実施している。平成二九年一二月現在で撮影した資料は、二七一点にのぼる(部分撮影含む)。

本年度は、『熊谷市史』資料編八刊行を優先しているため、新規調査校はなく、二月一三日に太田小学校、三月一六日に妻沼小学校の二校の追加調査のみとなった。いずれも資料編八掲載候補史料の確認作業である。

なお、妻沼小学校追加調査時に民具室にあつた古文書類三八点は、市史編さん室に移管した。古文書は虫損が甚だしいが、明治前期の妻沼村戸長役場文書の一部で、田租取立帳、学資金取立帳、村費記載帳などである。

(文責 水品 洋介)

VI 市政宅配講座等への派遣

平成二九年
二月一二日 秦公民館 担当 蛭間

市政宅配講座「荻野吟子③」

三月二日 朝霞市中央公民館 担当 蛭間

朝霞市人権講座「荻野吟子の生涯」

四月一日 熊谷図書館 担当 蛭間

直実・蓮生を学ぶ会「斎藤実盛の子どもたち」

四月九日 西城長慶寺 担当 栗原

市政宅配講座「西城の歴史と薬師堂」

六月一六日 妻沼中央公民館 担当 栗原

くまがやを学ぶ講座

「大嶋栄左衛門(弁財)と旅日記」

六月一八日 秦公民館 担当 栗原

市政宅配講座「江戸時代の旅日記をよむ①」

六月一八日 北間集会所 担当 蛭間

市政宅配講座「永井太田の歴史」

六月二七日 上石公民館 担当 小林

市政宅配講座「上石地区の歴史」

七月一四日 妻沼中央公民館 担当 栗原

くまがやを学ぶ講座

「林兵庫正清・正信親子と妻沼聖天堂」

八月一七日 肥塚公民館 担当 水品

市政宅配講座「原田覚一郎と妻沼滑空場」

一〇月一七日 中央公民館 担当 蛭間

歴史講座「鎌倉時代の熊谷」

十一月二六日 秦公民館 担当 栗原

市政宅配講座「江戸時代の旅日記をよむ②」

十一月二七日 妻沼中央公民館 担当 栗原

けやき大学共通講座

「イタリア人がみた明治二年の熊谷・妻沼」

VII 市史編さん業務日誌

【平成二八年度】

| | | | | | | | |
|------|---|------|---------------------------|------|---------------------------|----------|--------------------------|
| 1・4 | 遺跡・史料調査（5日、広島県三原市宗光寺・万性寺、広島市安佐北区熊谷氏遺跡、福山市広島県立博物館） | 2・9 | 新聞記事調査（県立文書館） | 2・8 | 石原塚越忠良家文書借用 | 3・17 | 第三回近世専門部会会議（立正大品川） |
| 1・5 | 新聞記事調査（県立文書館） | 2・9 | 新聞記事調査（県立文書館） | 2・8 | 新聞記事調査（県立文書館） | 3・19 | 第四回考古専門部会会議（市立熊谷図書館） |
| 1・12 | 新聞記事調査（県立文書館） | 2・10 | 縁日調査（八ツ口光明院） | 2・8 | 新聞記事調査（県立文書館） | 3・21 | 新聞記事調査（市立熊谷図書館） |
| 1・12 | 八潮市資料館来室（青山根岸家文書調査） | 2・12 | 市政宅配講座講師派遣（秦公民館） | 2・10 | 市政宅配講座講師派遣（秦公民館） | 3・22 | 近世専門部会古文書調査（県立文書館） |
| 1・13 | 埼玉県地域史料保存活用連絡協議会（以下、埼玉協）視察研修会（常陸大宮市） | 2・13 | 学校調査（太田小） | 2・12 | 学校調査（太田小） | 3・22 | 近世専門部会古文書調査（県立文書館） |
| 1・15 | 第五回古代専門部会会議（大東文化大板橋） | 2・16 | 仏像調査（下川上淨泉寺・今井光照寺） | 2・12 | 新聞記事調査（県立文書館） | 3・22 | 板井寺山孝作氏収集文書返却 |
| 1・18 | 妻沼田島通明氏収集文書追加借用 | 2・16 | 新聞記事調査（県立文書館） | 2・16 | 新聞記事調査（県立文書館） | 3・24 | 市史編さん委員会（妻沼中央公民館・妻沼展示館） |
| 1・19 | 新聞記事調査（県立文書館） | 2・19 | 第三回中世専門部会会議（市立熊谷図書館） | 2・19 | 第三回中世専門部会会議（市立熊谷図書館） | 3・24 | 熊谷市史料集3刊行 |
| 1・23 | 熊谷市史料集3掲載写真撮影（市立熊谷図書館） | 2・23 | 新聞記事調査（県立文書館） | 2・23 | 新聞記事調査（県立文書館） | 3・24 | 熊谷市史料集4刊行 |
| 1・26 | 新聞記事調査（県立文書館） | 2・28 | 近世専門部会巻担当者打合せ（立正大品川） | 2・28 | 近世専門部会巻担当者打合せ（立正大品川） | 3・24 | 熊谷市史報告書2刊行 |
| 1・27 | 埼玉協文書調査員研修会（県立文書館） | 3・1 | 中世専門部会文書調査（県立文書館） | 3・1 | 中世専門部会文書調査（県立文書館） | 3・27 | 新聞記事調査（市立熊谷図書館） |
| 1・29 | 第五回現代専門部会会議・調査（妻沼展示館） | 3・2 | 朝霞市人権講座講師派遣（朝霞市） | 3・2 | 第三回近代専門部会会議（市立熊谷図書館） | 【平成二九年度】 | |
| 1・29 | 嵐山史跡の博物館シンポジウム、書籍展示・販売（国立女性会館） | 3・5 | 第三回近代専門部会会議（市立熊谷図書館） | 3・5 | 第三回近代専門部会会議（市立熊谷図書館） | 4・1 | 直実・蓮生を学ぶ会講座講師派遣（市立熊谷図書館） |
| | | 3・8 | 埼玉協第八次専門研究委員会会議（久喜市郷土資料館） | 3・8 | 埼玉協第八次専門研究委員会会議（久喜市郷土資料館） | 4・9 | 市政宅配講座講師派遣（西城長慶寺） |
| | | 3・9 | 弥藤吾井田雅夫家文書借用 | 3・9 | 弥藤吾井田雅夫家文書借用 | 4・10 | 新聞記事調査（市立熊谷図書館） |
| | | 3・13 | 仏像調査（中奈良常楽寺） | 3・13 | 仏像調査（中奈良常楽寺） | 4・11 | 近代専門部会史料調査（早稲田大学戸山） |
| | | 3・14 | 深谷市坂東隆秀氏収集資料調査 | 3・14 | 深谷市坂東隆秀氏収集資料調査 | 4・13 | 刊行物配布・回収（県立文書館） |
| | | 3・15 | 妻沼堀越宏昭家文書借用 | 3・15 | 妻沼堀越宏昭家文書借用 | 4・17 | 新聞記事調査（市立熊谷図書館） |
| | | 3・16 | 学校調査（妻沼小・妻沼小学校旧蔵文書移管） | 3・16 | 学校調査（妻沼小・妻沼小学校旧蔵文書移管） | 4・18 | 近世専門部会古文書調査（県立文書館） |
| | | 3・16 | 男沼個人文書返却・薬師堂仏像調査 | 3・16 | 男沼個人文書返却・薬師堂仏像調査 | | |

| | | | | | |
|------|---|------|-------------------------|------|-----------------------------|
| 4・21 | 近世専門部会古文書調査（県立文書館） | 5・15 | 永井太田能護寺資料調査 | 6・10 | 妻沼地域文化財調査研究会総会 |
| 4・21 | 間々田弘法寺・上之村神社調査 | 5・16 | 三ヶ尻篠田美登里家文書借用 | 6・15 | 株式会社まらづくり熊谷、写真貸出 |
| 4・23 | 第一回現代専門部会会議・調査（妻沼展示館） | 5・17 | 埼玉協総会・公開講演会（宮代町） | 6・16 | くまがやを学ぶ講座講師派遣（妻沼中央公民館） |
| 4・24 | 新聞記事調査（市立熊谷図書館） | 5・18 | 近世専門部会古文書調査（県立文書館） | 6・18 | 市政宅配講座講師派遣（秦公民館） |
| 4・25 | 妻沼台円満寺文書返却・現地調査 | 5・19 | 日向増田家文書借用 | 6・20 | 仏像調査（久保島観照院・大光寺） |
| 4・25 | 弁財大嶋家文書借用 | 5・20 | 第一回近代専門部会会議（商工会議） | 6・21 | 近世専門部会巻担当者打合せ（立正大品川） |
| 4・26 | 内野氏所蔵資料調査（市立熊谷図書館） | 5・22 | 新聞記事調査（市立熊谷図書館） | 6・26 | 八木橋と熊谷の歴史展、展示資料調査（八木橋百貨店） |
| 4・28 | 仏像調査（万吉観音堂・第一集会所・如意輪観音堂） | 5・23 | 近代専門部会文書調査（国文学研究資料館） | 6・27 | 市政宅配講座講師派遣（上石公民館） |
| 4・29 | 中世石造物調査（30日） | 5・24 | 埼玉協第八次専門研究委員会第一回会議（鴻巣市） | 6・28 | 株式会社まらづくり熊谷、写真返却 |
| 5・2 | 立正大学古文書研究会との共同調査、四方寺吉田康久家・成沢福田祀晴家文書搬入搬出（8日、立正大熊谷） | 5・26 | 近世専門部会古文書調査（県立文書館） | 7・9 | 市政宅配講座講師派遣（北間集会所） |
| 5・2 | 近世専門部会古文書調査（県立文書館） | 5・28 | 聞き取り調査（妻沼地区、吉田・松本委員） | 7・10 | 石造物調査（妻沼地区、吉田・松本委員） |
| 5・7 | 熊谷郷土文化会総会（大麻生公民館） | 5・29 | 仏像調査（広瀬円福寺・石原東漸寺） | 7・13 | 埼玉協第八次専門研究委員会第二回会議（和光市・朝霞市） |
| 5・9 | 石原個人資料返却 | 6・3 | 第一回考古専門部会会議（市立熊谷図書館） | 7・13 | 深谷市奥田豊氏収集文書追加借用 |
| 5・10 | 中世石造物調査 | 6・4 | 第二回現代専門部会会議・調査（妻沼展示館） | 7・14 | くまがやを学ぶ講座講師派遣（妻沼中央公民館） |
| 5・11 | 上奈良篠沢靖男家資料返却 | 6・8 | 嵐山史跡の博物館板碑調査（替津田集会所） | 7・15 | 上須戸八幡大社祭礼神輿写真撮影 |
| 5・12 | 近世専門部会古文書調査（県立文書館） | 6・9 | 本因坊戦、書籍展示・販売（妻沼聖天山） | 7・18 | 仏像調査（江波宝蔵院、上須戸西光院） |
| 5・15 | 石原森光則氏所蔵資料調査 | 6・10 | 第一回中世石造物担当者会議（市立熊谷図書館） | 7・21 | 埼玉協地域史料実務研修会（八潮市立資料館） |
| | | 6・10 | 熊谷図書館 | 7・25 | 三ヶ尻篠田美登里家文書返却・追加借用 |
| | | 7・26 | 第一回近世専門部会会議（立正大品川） | | |

| | | | | | | | | |
|--|--|--|--|-------|---|--|--|--|
| | | | | 7.31 | 第三回現代専門部会会議・調査(妻沼中央公民館) | | | |
| | | | | 8.2 | 小・中学校五年経験者研修における社会貢献活動研修受入れ(3日) | | | |
| | | | | 8.2 | 永井太田能護寺借用資料返却 | | | |
| | | | | 8.4 | 立正大学古文書研究会との共同調査、四方寺吉田康久家・成沢福田祀晴家文書搬入搬出(9日、立正大熊谷) | | | |
| | | | | 8.7 | 熊谷郷土文化会研修会参加 | | | |
| | | | | 8.7 | 行政文書調査(妻沼行政センター) | | | |
| | | | | 8.7 | 熊谷平和展、大政翼賛会妻沼支部印貸出(16日) | | | |
| | | | | 8.9 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 8.11 | 中世石造物調査(鴻巣市) | | | |
| | | | | 8.17 | 永井太田野村氏所蔵刀剣調査 | | | |
| | | | | 8.17 | 市政宅配講座講師派遣(肥塚公民館) | | | |
| | | | | 8.22 | くまがや市商工会資料調査(妻沼) | | | |
| | | | | 8.23 | 新堀新田安藤修平氏来室、同氏収集文書寄附申請 | | | |
| | | | | 8.24 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 8.24 | 熊谷市史通史編上巻専門部会会長会議(本庁舎) | | | |
| | | | | 8.24 | 熊谷市史編集会議(本庁舎) | | | |
| | | | | 8.26 | 妻沼展示館収蔵庫煙蒸(28日) | | | |
| | | | | 8.28 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 8.29 | 西妻沼幼稚園資料調査(永井太田) | | | |
| | | | | 8.30 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 8.31 | 行政文書調査(本庁舎) | | | |
| | | | | 9.1 | 立正大学古文書研究会との共同調査、四方寺吉田康久家・成沢福田祀晴家文書搬入搬出(6日、立正大熊谷) | | | |
| | | | | 9.5 | 東京都台東区熊谷家訪問調査・文書借用 | | | |
| | | | | 9.6 | 行政文書調査(江南文化財センター) | | | |
| | | | | 9.8 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 9.15 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 9.20 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 9.21 | 第四回現代専門部会会議・調査(妻沼中央公民館) | | | |
| | | | | 9.21 | 文献資料調査(県立熊谷図書館) | | | |
| | | | | 9.26 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 9.28 | 仏像調査(久保島白林寺・尊乗院) | | | |
| | | | | 10.3 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 10.3 | くまがや市商工会追加資料調査(妻沼) | | | |
| | | | | 10.3 | 行政文書調査(妻沼行政センター) | | | |
| | | | | 10.6 | 埼玉史協第二回理事会・主管課長等研修会(県立歴史と民俗の博物館) | | | |
| | | | | 10.10 | 近世専門部会巻担当打合せ(立正大品川) | | | |
| | | | | 10.16 | 東武鉄道株式会社資料調査事前打合せ(東京都墨田区) | | | |
| | | | | 10.16 | 深谷市奥田豊氏収集文書追加借用 | | | |
| | | | | 10.17 | 中央公民館歴史講座講師派遣(中央公民館) | | | |
| | | | | 10.27 | 仏像調査(今井弘誓寺・小曽根光明寺・上之東光寺) | | | |
| | | | | 10.29 | 第二回近代専門部会会議(商工会館) | | | |
| | | | | 11.1 | 弥藤吾水川神社調査 | | | |
| | | | | 11.6 | 東別府個人文書借用 | | | |
| | | | | 11.8 | 銀座個人資料調査・借用 | | | |
| | | | | 11.9 | 資料調査(県立熊谷図書館) | | | |
| | | | | 11.10 | 東武鉄道株式会社資料調査(東京都墨田区) | | | |
| | | | | 11.13 | 石原塚越忠良家文書一部返却 | | | |
| | | | | 11.15 | 埼玉史協第八次専門研究委員会第三回会議(戸田市) | | | |
| | | | | 11.16 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 11.17 | 東京古典会古文書展観(東京都千代田区) | | | |
| | | | | 11.23 | 第二回近世専門部会会議(立正大品川) | | | |
| | | | | 11.26 | 市政宅配講座講師派遣(秦公民館) | | | |
| | | | | 11.26 | 熊谷市史編さん委員会(市庁舎) | | | |
| | | | | 11.27 | 第五回現代専門部会会議・調査(妻沼中央公民館) | | | |
| | | | | 11.27 | 仏像調査(代東善寺) | | | |
| | | | | 11.27 | けやき大学共通講座講師派遣(妻沼中央公民館) | | | |
| | | | | 11.28 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 12.8 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 12.12 | 弥藤吾水川神社調査 | | | |
| | | | | 12.13 | 銀座個人文書返却 | | | |
| | | | | 12.14 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |
| | | | | 12.17 | 古代専門部会打合せ(さいたま市) | | | |
| | | | | 12.19 | 秦公民館資料調査 | | | |
| | | | | 12.20 | 仏像調査(原島吉祥寺・養平寺) | | | |
| | | | | 12.25 | 第三回近代専門部会会議(商工会館) | | | |
| | | | | 12.26 | 近世専門部会古文書調査(国文学研究資料館) | | | |

(注1) 本業務日誌は、事務局が関わったものについて記載しています。